

慧修会

ファイナルチェック

東京医科大学 生物

問題

小胞体とゴルジ体に関する記述として最も適当なものを、次の①～⑤の中からすべて選びなさい。

- ① 細胞内のカルシウムイオン濃度の調節には小胞体が発与している。
- ② 小胞体内のカルシウムイオンは主に骨形成に利用される。
- ③ 小胞体で合成されたタンパク質はリソソームを介してゴルジ体へ分泌される。
- ④ ゴルジ体は動物細胞に比べると植物細胞では発達していない。
- ⑤ ゴルジ体からリソソームを介して細胞外へタンパク質が分泌される。

正解：①，④ 小胞体内のカルシウムイオンは筋収縮に利用される。またタンパク質は小胞体からゴルジ体へ分泌される。そして、ゴルジ体から分泌小胞の形で、細胞外に分泌される。



Point

知識の選択肢が非常に難しい。正確な知識がないと完答は難しい上、消去法も使いにくい。実験考察問題で得点を安定させることが大事になる。



医学部受験 慧修会
専門予備校



慧修会の専用
HPはこちら